

令和元年度 事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日 平成 31 年 4 月 16 日

Table with columns for project name, policy system position, budget items, and fiscal year position. Includes details for '空き地等の環境保全作業' and '生活環境の保全'.

法令根拠 桜川市空き地等の環境保全に関する条例

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table (1) Summary of business activities. Includes sections for '概要' (Overview) and '担当者が行う業務の内容・やり方・手順' (Business content/methods/procedures).

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table (2) Indicators and trends. Columns include '手段' (Means), '対象' (Target), '意図' (Intent), and various indicators like '苦情件数' (Complaint cases) and '適正管理された空き地件数' (Number of properly managed vacant lots).

Table (3) Trends of input (business expenses). Columns show '29年度 (実績)', '30年度 (実績)', '01年度 (計画)', and '期間限定総投入量' (Limited period total input).

Table (4) Business expense trends. Columns show '30年度事業費 実績 (千円)' and '01年度事業費 予算 (千円)' with a '合計' (Total) row.

Table (4) Implementation content of the fiscal year. Columns show '01年度の事業内容', '02年度の事業内容', and '03年度の事業内容'. Includes a note about recording content by fiscal year and a list of main activities.

事務事業名	空き地等の環境保全作業	事務事業No.	50802000228	所属課	生活環境課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

空き地等に繁茂し、放置される雑草及びこれに類するかん木または枯草等が火災及び犯罪の発生原因となり、かつ、清潔な生活環境の保持に支障を及ぼすことを鑑み、雑草等を除去するため平成17年10月より条例が施行された。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

土地所有者が自ら刈り取ろうとする意識が薄いので、雑草を調査して、空き地の所有者に適正に管理するよう指導してもらいたい。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	空き地を適正に管理してもらい衛生面・安全面の生活環境の保持を図ることが市民生活の安全に直結している。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	桜川市空き地等の環境保全に関する条例の定めがあるため。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	対象となる空き地が急増し、苦情なども増えている。土地管理者への適正管理についての啓発が必要となる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	雑草等の繁茂した空き地の近隣住民からの危険性を訴える声にこたえるためにも、市からの通知・指導が不可欠である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費なし。 苦情の件数や内容により業務時間は変化するため、削減の余地なし。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	土地の管理については、管理者が行うため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	土地の管理者が高齢化しているため、管理が滞っている土地が多くなってきている。また、土地の管理者が市外や県外在住の事例も増えており、通知をしても履行されないことが多いほか、転居先が不明で通知ができないことも増えてきている。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr><td colspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr> <tr><td colspan="2"></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr> <tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr> <tr><td>低下</td><td></td><td></td><td>×</td></tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
土地の所有者又は管理者に、土地を適正に管理するという意識が薄い場合が多いので、適正に管理されないことによって発生するデメリットについての周知を行う。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	②																							
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>